



日本アビオニクス株式会社

証券コード：6946

第67期 報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

○ 株主の皆様へ



Contents

株主の皆様へ	1
セグメント別の概況	3
トピックス	5
連結財務ハイライト	6
連結財務データ	7
株式の状況	9
会社の概要	10

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第67期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業の概況等についてご報告申し上げます。

【当期は新製品の投入等の諸施策を展開し、民需市場の開拓に努めました】

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、宇宙・防衛市場では、防衛省の海外調達が増加し、国内調達は減少しました。また、民需市場においては、主に海外のスマートフォンや電装化が進展する自動車向け部品市場における設備投資が活発だったものの、総じて不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、海外民需市場の開拓を進めるとともに、国内外の展示会への出展を推進し、新製品の投入を進めるなど諸施策を展開し、売上拡大に努めました。

なお、東海旅客鉄道株式会社（以下、「JR東海」といいます。）のリニア中央新幹線計画に協力するため、プリント配線板の製造を分担している連結子会社の山梨アビオニクス株式会社の敷地の一部をJR東海に譲渡し、当該敷地から建物等を収去する補償としてJR東海から補償金を収受すること、およびプリント配線板事業を沖電気工業株式会社グループに事業移管することとし、現在移管を進めております。

【売上高は減少したものの、当期純利益は改善しました】

当期の連結売上高は前期比14億78百万円減少の214億42百万円となりました。連結損益は、費用削減等に努めたものの売上高が減少したことから、営業利益が前期比5億54百万円悪化の20百万円、経常損失が前期比5億40百万円悪化の60百万円となりました。また、JR東海から当期受領した補償金36億94百万円を特別利益に計上し、プリント配線板事業の移管に係る費用等17億76百万円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比13億95百万円改善の15億10百万円となりました。

配当につきましては、なお累積損失が存在することから、まことに遺憾ながら普通株式、第1種優先株式および第2種優先株式は無配とさせていただきます。

【各セグメントの競争力強化・差別化をはかり、中期経営計画の達成を目指してまいります】

次期の見通しにつきましては、米国の政策動向や各国の保護主義的な動きなど、当社を取り巻くマクロの社会・経済環境は、不確実性が常態となっており先の見えない時代がこれからも続くものと予想されます。このような状況の中で、当社グループは、プリント配線板の事業移管を着実に進めながら、情報システムと電子機器の2つのセグメントで競争力強化・差別化をはかり、かつ顧客価値提案力の強化、技術基盤の再構築、QCD（品質・コスト・納期）等の改善を行い、中期経営計画の達成を目指してまいります。

【次期連結業績予想*】

単位：百万円

	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する 当期純利益
次期業績予想	21,500	△850	△900	250

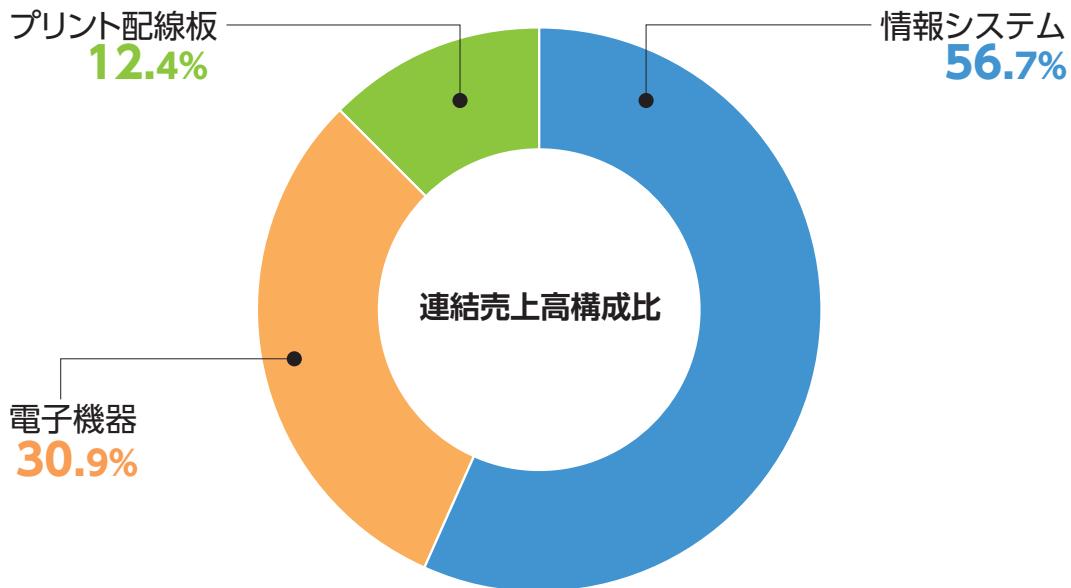
※業績予想の数値は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

平成29年6月

代表取締役執行役員社長

秋津勝彦

○ セグメント別の概況



情報システム

連結売上高

121億49百万円

(前期比7.2%減少)



— 防衛省の海外調達が増加し国内調達が減少している影響により、減少しました。

セグメント利益

45百万円

(前期比3億98百万円悪化)



— 諸経費削減に努めたものの、売上高の減少により、悪化しました。



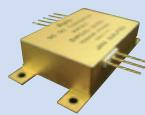
指揮・統制装置



表示・音響装置



電波応用装置

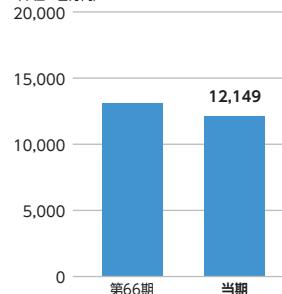


ハイブリッドIC

主要製品：誘導・搭載関連装置、表示・音響関連装置、指揮・統制関連装置、ハイブリッドIC

情報システム連結売上高推移

(単位：百万円)



電子機器

連結売上高

66億30百万円
(前期比1.9%減少)



ー接合機器は、電子部品・スマートフォン向け設備の需要増により好調に推移も、前期の計測機器譲渡や感染症対策向け機器の減少等の影響で、赤外線機器が減収となり、全体として減少しました。

セグメント利益

5億 6百万円
(前期比1億84百万円改善)



ープロダクトミックスの変動による利益の増加および諸経費の削減に努めた結果、改善しました。



インバータ式抵抗溶接機
&水平加圧ヘッド



全自動シーム
封止装置



InfReC
H9000シリーズ



InfReC
R500EXシリーズ

主要製品：接合機器、赤外線機器

電子機器連結売上高推移

(単位：百万円)



プリント配線板

連結売上高

26億62百万円
(前期比13.4%減少)



ー平成28年7月7日の事業移管の公表後、移管先への受注切替が進み、減少しました。

セグメント損失

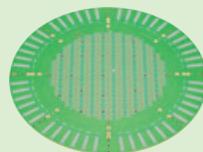
5億32百万円
(前期比3億40百万円悪化)



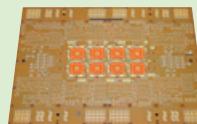
ー売上減の影響により悪化しました。



高信頼性フレックスリジッド配線板



半導体プローブカード



半導体テストボード

主要製品：プリント配線板

プリント配線板連結売上高推移

(単位：百万円)



赤外線サーモグラフィカメラ「InfReC TS600シリーズ」の販売を開始！

本製品は、最新の高感度・高解像度VGA（640×480画素）赤外線センサと汎用プロトコル*1を搭載した「高機能・高画質／ネットワーク対応／設置型モデル」です。

化学プラントなどの生産現場で汎用的に使用されている「Modbus TCP」プロトコル*2や映像監視システムで汎用的な「ONVIF」プロトコル*3に対応しており、ネットワークを通じて既存のシステムの制御・監視が可能となり、安価に設備監視システムを構築することができます。

ダイキャスト金型温度監視、製鉄所や石油化学プラントの炉材温度監視、金属やガラス製品の測定、鉄道や空港のセキュリティ向けモニタリングなど様々な温度計測シーンに対応します。



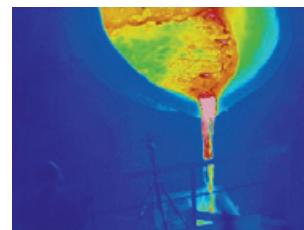
InfReC TS600

製品の特長

- 従来機種（TS9260/9230）と比較して、体積で約50%、質量で約30%、消費電力で約20%の削減を実現しました。（TS610）
- 最新の高感度・高解像度赤外線センサの採用で、広範囲を撮影しても鮮明で高画質な赤外線映像を提供します。



ダイキャスト金型の温度監視



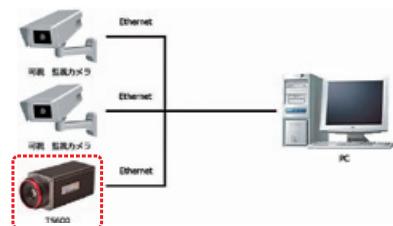
溶銑の温度監視

用語解説

- *1 プロトコル
電子機器間でデータを送受信するための規格のことで、同じプロトコルを使用している電子機器同士であればデータをやり取りすることが可能です。
- *2 「Modbus TCP」プロトコル
主に製造設備において汎用的に使用されているプロトコル。
- *3 「ONVIF」プロトコル
ネットワークカメラ等に用いられるプロトコル。

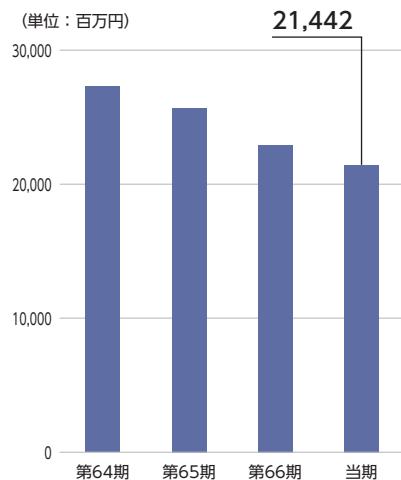


*2 Modbus TCPプロトコルを用いた分散制御システム

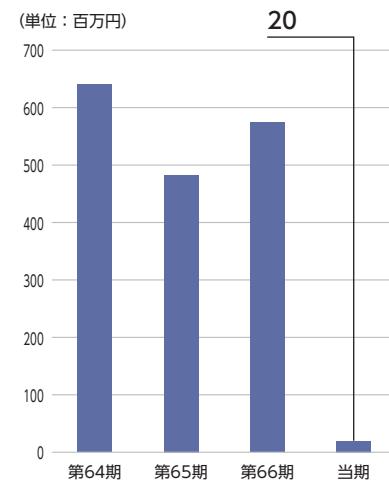


*3 ONVIFプロトコルを用いた監視システム

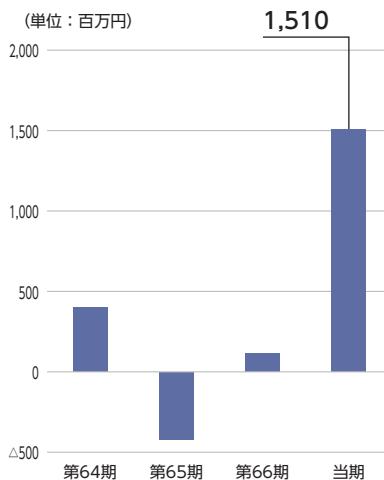
売上高推移



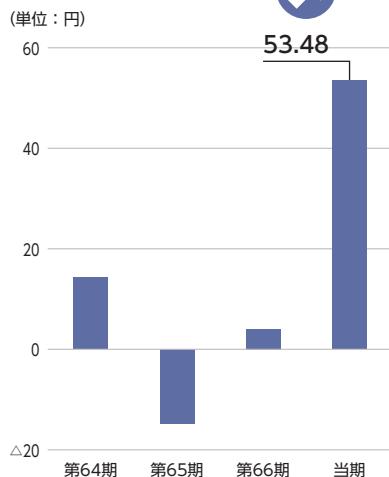
営業利益推移



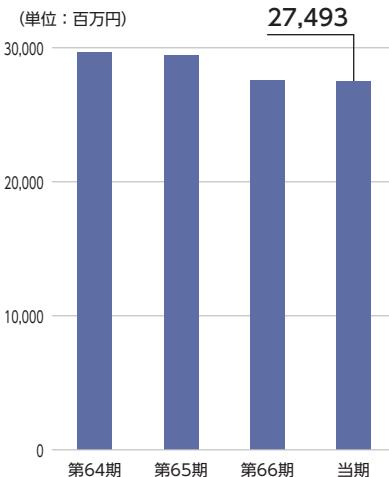
親会社株主に帰属する
当期純損益推移



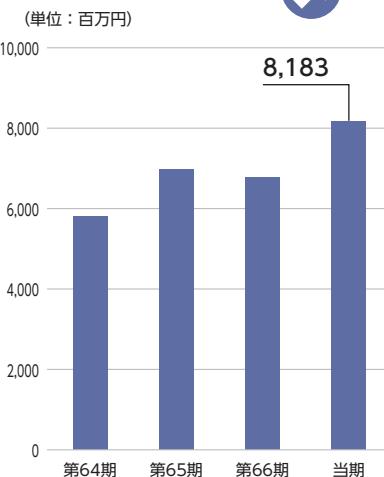
1株当たり当期純損益推移



総資産推移

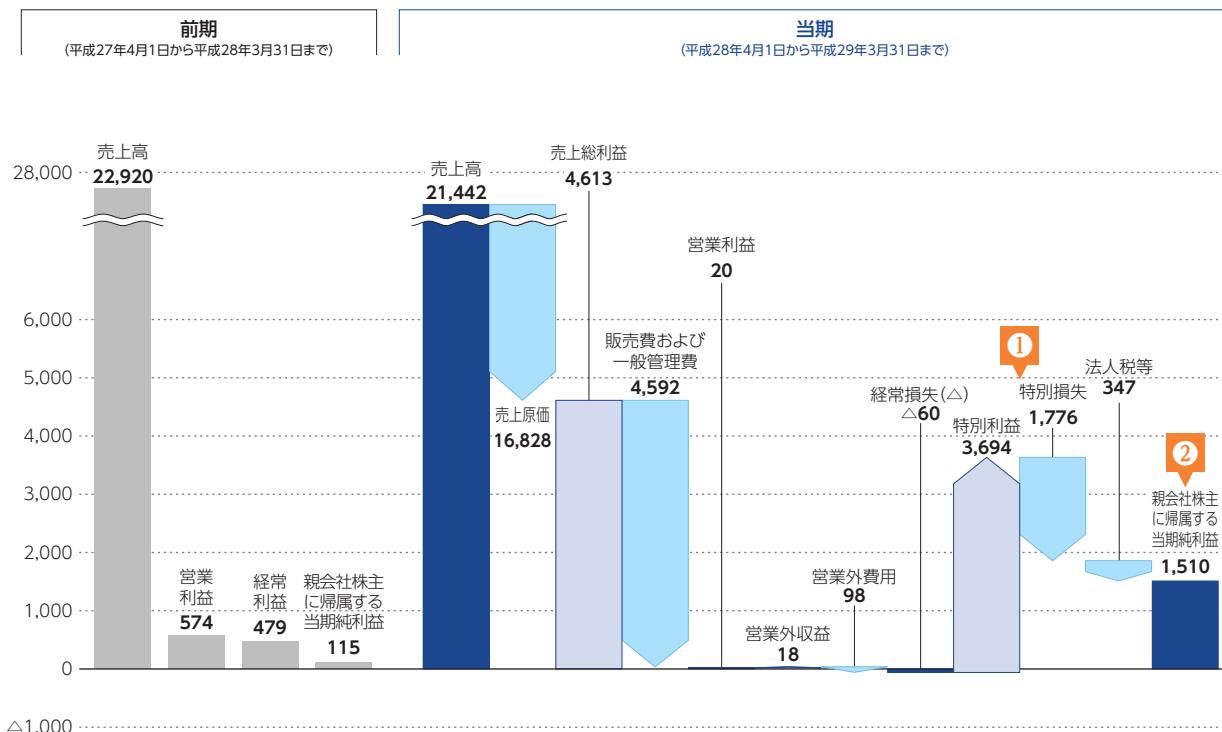


純資産推移



○ 連結財務データ

連結損益計算書の概要 (単位：百万円)



POINT

① 特別利益・特別損失

プリント配線板を製造している連結子会社の山梨アビオニクス株式会社の敷地の一部をJR東海へ譲渡し、建物等を取去する補償として受領した補償金36億94百万円を特別利益に計上し、プリント配線板事業の移管に係る費用等17億76百万円を特別損失に計上いたしました。

② 親会社株主に帰属する当期純利益

売上高の減少や事業移管に係る費用等を経常損失および特別損失として計上したものの、JR東海からの取去する資産等に対する補償金の一部を特別利益として計上した結果、前期比13億95百万円改善の15億10百万円となりました。

③ 資産合計

有形・無形固定資産の減少等により、前期比55百万円減少の274億93百万円となりました。

④ 負債・純資産合計

負債合計は長期借入金の減少等により193億9百万円(前期比14億59百万円減少)となりました。また、純資産合計は親会社株主に帰属する当期純利益を計上したことにより、利益剰余金等が増加したことから、81億83百万円(前期比14億4百万円増加)となりました。

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産は増加したものの、税金等調整前当期純利益、減価償却費の計上および仕入債務の増加等により、営業活動の結果獲得した資金は、40億30百万円となりました。

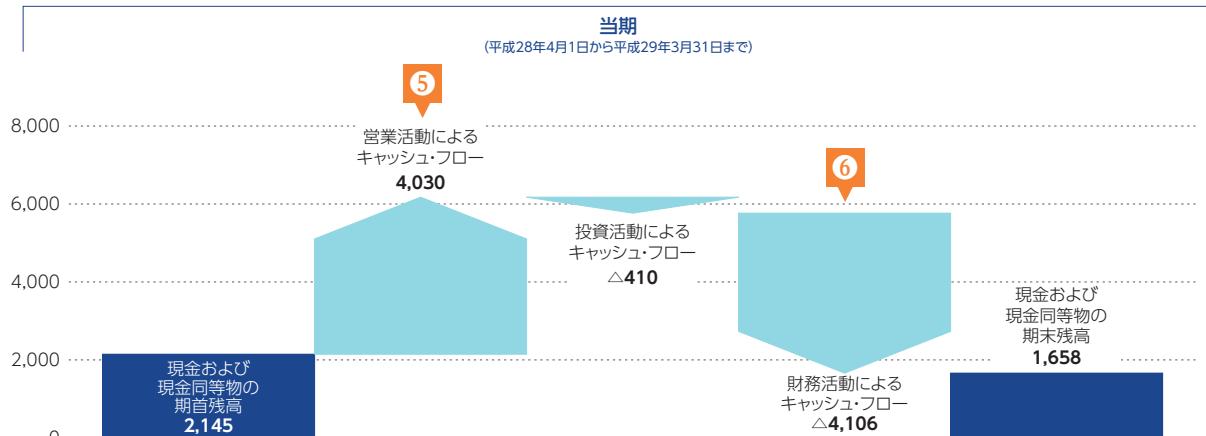
⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に借入金の返済による支出により、財務活動の結果使用した資金は、41億6百万円となりました。

連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



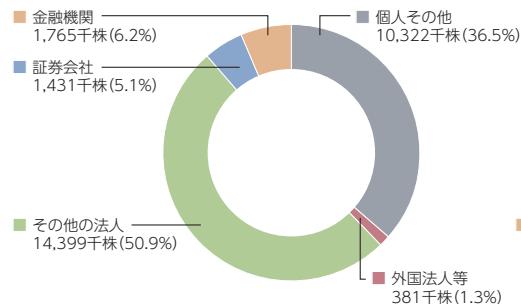
	普通株式	第1種優先株式	第2種優先株式
(1) 発行可能株式総数 80,000千株	76,000千株	4,000千株	1,500千株
(2) 発行済株式の総数 30,600千株	28,300千株	800千株	1,500千株
(3) 株主数	3,450名	1名	1名

(注) 第1種優先株式および第2種優先株式は、日本電気株式会社が全株所有しております。

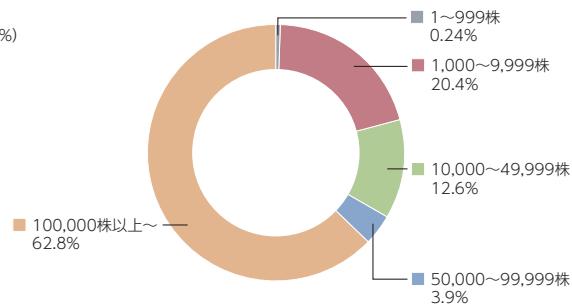
(4) 大株主の状況 (普通株式上位10名)

株主名	所有株式数 千株	持株比率 %
日本電気株式会社	14,151	50.00
楽天証券株式会社	468	1.65
株式会社三井住友銀行	441	1.56
日本アビオニクス従業員持株会	377	1.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	255	0.90
三井住友信託銀行株式会社	249	0.88
株式会社SBI証券	234	0.83
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	223	0.79
住友生命保険相互会社	218	0.77
三井住友海上火災保険株式会社	161	0.57

(5) 所有者別分布の状況 (普通株式)



(6) 所有株数別の状況 (普通株式)



会社の概況 (平成29年3月31日現在)

- 商号 日本アビオニクス株式会社
- 英文商号 Nippon Avionics Co., Ltd.
- 設立 昭和35年4月8日
- 資本金 58億95百万円
- 従業員数 999名 (連結) 747名 (単独)
- 証券コード 6946

■ 営業所および工場 (平成29年6月23日現在)

本社	東京都品川区西五反田八丁目1番5号
横浜事業所	横浜市瀬谷区本郷二丁目28番2
新横浜事業所	神奈川県横浜市都筑区池辺町4206番地
府中支店	東京都府中市府中町一丁目10番地の3
中部支店	名古屋市中区丸の内三丁目17番6号
西日本支店	大阪市淀川区西中島一丁目11番16号

子会社 (平成29年3月31日現在)

- 山梨アビオニクス株式会社
山梨県南アルプス市宮沢568番地
- 福島アビオニクス株式会社
福島県郡山市待池台一丁目20番地

役員 の 状況 (平成29年6月23日現在)

取締役

代表取締役	秋津勝彦
取締役	新井孝男
取締役	上田勇
取締役	延岡健太郎
取締役	望月愛子
取締役	伊藤茂樹
取締役	松本康子

(注) 延岡健太郎、望月愛子の両氏は、社外取締役であります。
伊藤茂樹、松本康子の両氏は業務執行を行わない取締役であります。

監査役

監査役 (常勤)	鈴木智雄
監査役 (常勤)	篠田亨
監査役	千原真衣子
監査役	大貫篤繁

(注) 鈴木智雄、篠田亨、千原真衣子の各氏は、社外監査役であります。

執行役員

執行役員社長	秋津勝彦 ※
執行役員常務	井川裕三
執行役員常務	上田勇 ※
執行役員	新井孝男 ※
執行役員	橋本隆
執行役員	竹内正人
執行役員	山後宏幸
執行役員	室伏剛
執行役員	大城宗宏
執行役員	加賀田司

(注) ※の執行役員は、取締役を兼務しております。

株 主 メ モ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要のあるときはあらかじめ公告します。
- 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
(電話照会先) ☎0120-782-031
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>
- 公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.avio.co.jp/company/index.htm>
ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

当社ホームページのご案内

ホームページにて最新のIR情報等をご覧いただけます。

<http://www.avio.co.jp/>

日本アビオ

検索



株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

- 証券会社に口座を開設されている株主様
⇒ 口座のある証券会社宛にお願いいたします。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
⇒ 上記電話照会先をお願いいたします。

 日本アビオニクス株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田八丁目1番5号
TEL. 03-5436-0600 <http://www.avio.co.jp/>

 UD
FONT

 ミックス
責任ある木質資源を
使用した紙
FSC® C013080

 VEGETABLE
OIL INK